



基本目標

3

学ぶところと元気な
からだを育む
まちづくり

C O N T E N T S

[教育]	20 ● 子どもの個性を伸ばし育む教育環境を充実します……………76
	21 ● 高等学校・高等教育機関と地域の連携を図ります ……78
[学習活動]	22 ● いつでも・どこでも・だれでも学習できる環境づくりを進めます …80
[図書館]	23 ● 生涯各期にわたる読書環境を充実します ……82
[文化・文化財]	24 ● 個性豊かな資質の高い芸術文化を築いていきます ……84
	25 ● カリンバ遺跡などの文化財を保護し活用します ……86
[スポーツ]	26 ● さまざまなスポーツに誰もが参加できる環境づくりを進めます ……88

20 子どもの個性を伸ばし育む教育環境を充実します

主要
施策

20-1. 幼児教育の充実
20-2. 学校教育の充実

20-3. 教育環境の充実
20-4. 健康・食の教育の充実



学校給食(小学校)

現況と課題

○幼児期は人間形成の基礎が培われる大切な時期です。集団生活の体験を通じた学習により、創造性と社会性を養うことが重要です。本市には、4法人8幼稚園があり2～5歳までの園児1,424名(平成22年5月現在)が入園しています。子育て支援事業の一環として2歳児の受入れや幼稚園終了後の預かり保育を行うなど、幼稚園を取り巻く環境も変化してきています。今後は、保育所及び小学校との連携を深めながら、幼児教育の一層の充実が図られるよう支援していく必要があります。

○学校教育(義務教育)においては、個性を生かし感性豊かで心身ともにたくましい児童生徒の育成とともに、生涯にわたる学習の基礎を培うため、自ら学び自ら考え主体的に判断し行動できる基礎的学力を育成する教育の充実が求められています。本市には、平成22年5月現在、小学校8校に4,040名が在籍し、また中学校5校には2,144名が在籍しています。教育機能の一層の充実を図るとともに、家庭・学校・地域社会の連携を深めながら、きめ細かな義務教育の推進を図っていく必要があります。

基本
方針

幼児教育の一層の充実が図られるよう支援するとともに、家庭・学校・地域が一体となって、子どもの個性を伸ばし育む特色ある教育の推進や学校教育施設の整備に努めます。

主要
施策

20-1 幼児教育の充実

父母の教育費の負担を軽減するため、幼稚園就園奨励補助金の交付や私立幼稚園に対する助成などを通じて支援するとともに、小学校や地域との連携を深めながら就園児童の拡大や幼稚園機能の充実に努めます。

【主な事業】

- ・ 幼稚園就園奨励補助の実施
- ・ 私立幼稚園補助の実施

20-2 学校教育の充実

子どもの個性を伸ばす教育内容の充実と教育環境の整備を図るとともに、家庭や地域との連携を深めながら、安全で地域に根ざした特色ある教育活動を推進します。

【主な事業】

- ・ 学校教育基本方針の策定・推進
- ・ 児童生徒の相談体制の充実

- ・ 特別支援教育^{※1}の推進
- ・ 特色ある学校づくり
- ・ 児童生徒の安全教育の実施

20-3 教育環境の充実

子どもたちの学習と生活の場である学校の安全・安心の確保のため、校舎の耐震化や改修、暖房機の更新などを推進するとともに教育用コンピュータ機器の更新などの整備充実を図ります。

【主な事業】

- ・ 小・中学校耐震化推進事業
- ・ 小・中学校環境整備事業
- ・ 教育用コンピュータ機器整備事業

20-4 健康・食の教育の充実

子どもたちが将来にわたって、望ましい食生活を形成することが重要となっており、学校における食に関する指導の一層の充実と効果的な学校給食の管理を推進します。

【主な事業】

- ・ 学校給食センター施設等整備更新事業
- ・ 学校における食農教育^{※2}の推進

※1 特別支援教育…障がいのある児童生徒などの自立・社会参加に向け一人ひとりの教育的ニーズを把握し個人の力を高めようとする教育
 ※2 食農教育…人が生きるもつとも基本的な要素である食についての教育とそれを支える農業の体験的学習を一体的に実施する教育

21 高等学校・高等教育機関と地域の連携を図ります

- 主要施策** 21-1. 高等学校教育の充実と地域との連携
21-2. 大学などの高等教育機関との連携

現況と課題

○高等学校は、道内で唯一の体育科を有する恵庭南高等学校と恵庭北高等学校の2校が設置され、1,951名（平成22年5月現在）の生徒が学んでいます。少子化の進展にともなって生徒数が減少することも予想されますが、地元の子どもたちが地元の高校に入学できるよう学級数の確保や校舎、体育館の改修など教育施設の整備の充実を要請していく必要があります。

○本市には、大学が1校、また大学の資源開発研究所が1カ所設置されています。これに医療系を中心に多様な職業教育などの場としての専門学校が3校あり、3,915名（平成22年5月現在）の学生が学んでいます。大学、各専門学校においては、いずれも地域に開かれた高等教育機関として、市民を対象にした多様な公開講座や小学校との交流事業の実施など、市民の生涯学習を支援する教育機関とし

て大きな存在になっています。

基本方針

高等学校、大学、専門学校と地域が連携を強め、ボランティア活動や公開講座などによる地域との交流を深めます。

主要施策 21-1 高等学校教育の充実と地域との連携

北海道教育委員会と連携しながら学級数の確保や学校施設の整備に努めるとともにボランティア活動など地域との連携を図っていきます。

【主な事業】

- ・ボランティア活動などによる地域連携、社会参加の促進



恵庭南高等学校

21-2 大学などの高等教育機関との連携

大学など高等教育機関の高度な研究成果に関する公開講座の開設や施設の市民開放など地域との連携を図ります。

【主な事業】

- ・国際交流会館の活用
- ・公開講座の開催
- ・アシスタントティーチャー事業^{※1}、実習生の受入れ
- ・ふれあい心の友訪問援助事業^{※2}



北海道文教大学キャンパスの様子

※1—アシスタントティーチャー事業…教職をめざす学生が教育助手となり、より充実した小中学校教育、大学との交流、学生の研修を図る制度
 ※2—ふれあい心の友訪問援助事業…大学生等のボランティアが、学校に通いたくても通えない不登校の児童生徒の家庭を訪問し、話し相手となりながら、「ふれあい」を通して学校復帰をめざす支援事業

22 いつでも・どこでも・だれでも 学習できる環境づくりを進めます

- 主要
施策**
- 22-1. 学習機会の充実
 - 22-2. 学習環境の充実
 - 22-3. 学習支援体制の充実

現況と 課題

○少子高齢化、国際化、高度情報化、男女共同参画の進展など社会構造の急激な変化の中で、人々が生涯にわたり生きがいとゆとりを持ち充実した生活を送ることが求められています。今後、市民の学習へのニーズは一層高まり多様化が進むものと考えられます。

○学校と家庭・地域社会との連携を図りながら、地域に根ざした多様な学習機会の提供をはじめ、学習情報の提供や指導者の養成と確保、生涯学習関連施設の充実など学習環境を整備し、市民のだれもが自己の充実をめざし、人生の各期に応じた学習ができるような社会を実現する必要があります。

○地区会館は地域コミュニティ活動や市民の幅広い学習活動の場であるとともに、災害時には避難所としての機能を担っています。施設の老朽化に伴う改修や耐震化が必要です。

基本 方針

市民の多様な学習ニーズに応じた学習機会の充実や生涯学習関連施設の整備充実、学習情報の提供、指導者の養成と地域にいる人材の発掘など総合的・計画的な生涯学習の推進に努め、いつでも、どこでも、だれでも学習でき、多世代が多機能に活動し、学び、交流できる環境づくりをめざします。

主要 施策

22-1 学習機会の充実

社会が急速に変化する中で、市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分にとって生きがいやうおいのある学習ができるよう、幼児期から高齢期まで人生の各期に応じた学習機会の提供と充実に努めます。

【主な事業】

- ・市民講座・公民館サークル活動の充実
- ・コミュニティスクール事業^{*1}

22-2 学習環境の充実

学校施設や地区会館、公民館、青少年研修センターなどの身近な施設を活用した地域コミュニティ活動や青少年の育成のための体験や学習、遊びの機会の拡充など、市民の幅広い学習活動が展開できる環境整備に努めます。

【主な事業】

- ・島松公民館リニューアル事業
- ・地区会館整備及び複合機能施設の整備（再掲）

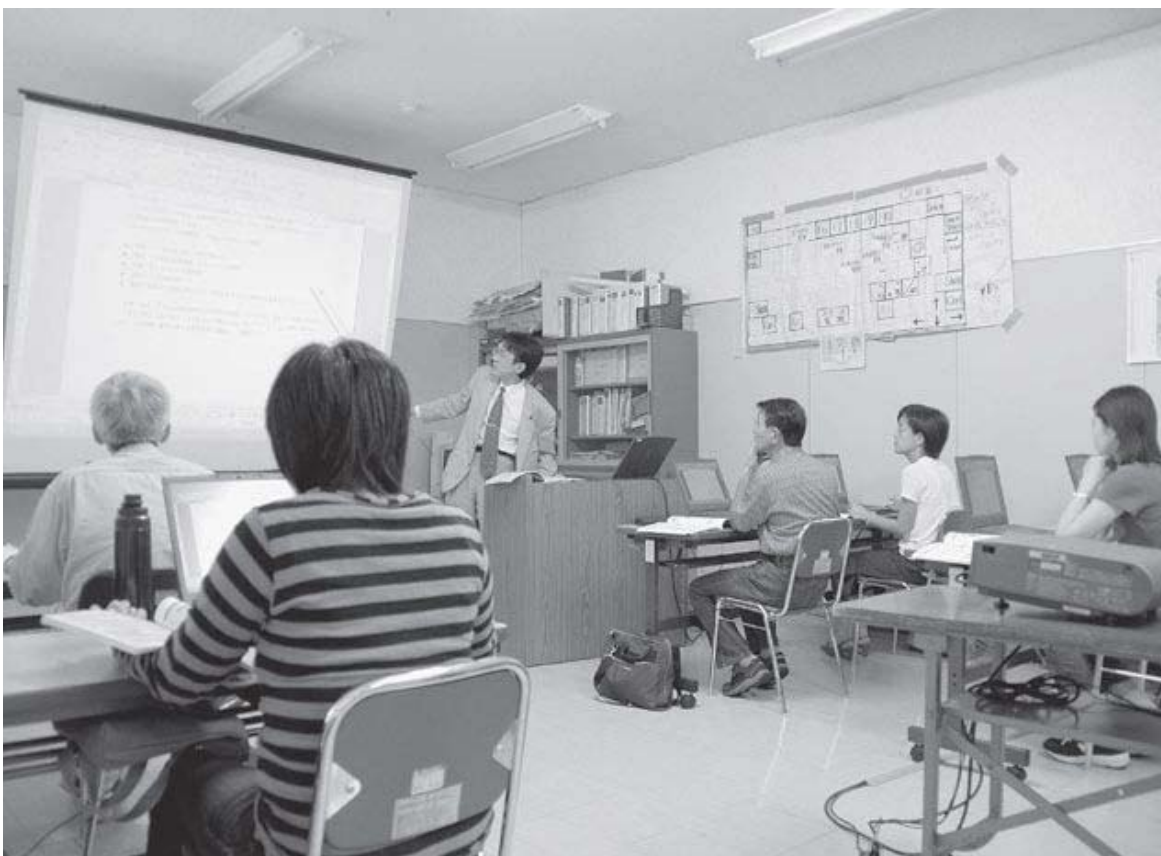
※1 コミュニティスクール事業…学校を拠点に地域の住民が学習を通して交流を図る事業

22-3 学習支援体制の充実

市民の一人ひとりが生涯を通じて学ぶことができるよう、関係機関や団体と連携して学習機会や学習情報の提供、指導者の養成や学習ボランティア活動への支援や人材の育成に努めながら、総合的な学習活動の推進を図ります。

【主な事業】

- ・(仮称)えにわ知恵ネットバンク事業(再掲)
- ・学習活動団体の育成支援



IT講習会

23 生涯各期にわたる読書環境を充実します

主要
施策

23-1. 恵庭市子ども読書プランの推進

23-2. 図書館サービス計画の推進

23-3. 図書情報提供システムの構築



ブックスタート

現況と課題

○市民の多様化する読書ニーズに対応した資料・情報の収集と提供、学習の機会や場の提供などを中心としたサービスを行っており、生涯の各期における学習の重要性はますます高まっています。

○本市では乳児対象の「ブックスタート^{※1}」や幼児対象の「ブックスタートプラス^{※1}」を実施し、また小学校図書館への専任司書の配置を中学校にまで拡大するなど、子どもの読

書環境整備と各世代に応じた読書環境や学習環境の充実に努めてきました。さらに、市民の自主的な読書、学習、調査研究活動を支えていくためには、蔵書の充実、全域利用サービスなど、きめ細かな取り組みが求められています。

基本方針

乳幼児期から生涯各世代に応じた読書環境や学習環境を充実していくとともに市全域での利用サービスネットワークの構築に取り組みます。

※1—ブックスタート・ブックスタートプラス…乳幼児に絵本を開く体験とあたたかなメッセージを伝え、絵本を手渡すことで、親子で絵本に親しみ、言葉と心を育む事業

主要
施策

23-1 恵庭市子ども読書 プランの推進

本に親しみ読書を楽しむことを通して心安らぐ明るく豊かなまちを築くため、家庭・地域・ボランティア・幼稚園・保育園・学校・図書館が連携し、生涯にわたって読書活動ができる環境整備に努めます。

【主な事業】

- ・ブックスタート・ブックスタートプラス事業
- ・小・中学校の図書の充実
- ・読み聞かせ活動の推進
- ・家読（うちどく）^{※2}事業

23-2 図書館サービス計画の推進

世代を問わない全域利用サービスと情報提



供のため、図書館システムの整備やブックステーションの設置などのネットワーク構築を図るとともに、本館及び分館における快適な読書環境を目的とした施設整備を進めます。

【主な事業】

- ・ブックステーション^{※3}の整備
- ・図書館分館の再整備
- ・高齢者等への図書宅配サービス

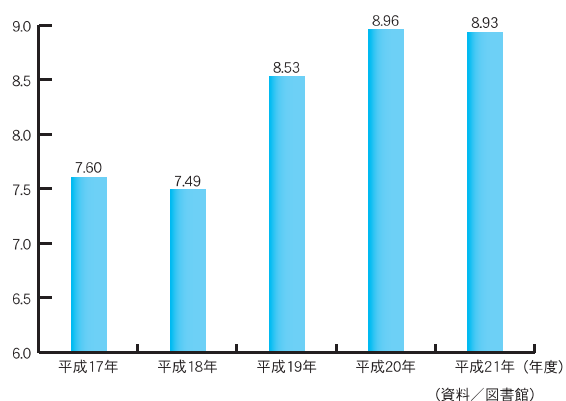
23-3 図書情報提供システムの構築

生涯各時期における学習課題や多様な市民の読書ニーズに応えられるよう情報提供システムを構築します。

【主な事業】

- ・新着情報配信サービス
- ・図書館システムの更新

■ 市民一人当たり貸出冊数の推移 (単位/冊)



※2—家読（うちどく）…家族揃って本を読み、感想を共有することで家族のコミュニケーションを図る新しい読書スタイル
※3—ブックステーション…図書館の本館・分館機能を補い地域で貸出しを行う

24 個性豊かな資質の高い芸術文化を築いていきます

主要
施策

24-1. 芸術文化の振興

24-2. 郷土芸能の保存・普及



油絵サークル

現況と課題

○ライフスタイルや価値観の多様化、少子高齢化の進展により、これまでにも増して心豊かな充足した生活が求められ、音楽などの芸術文化活動が一層活発化していくものと予想されます。

○本市では社会教育事業の一環として市民会館や公民館、市立図書館などの場においてさまざまな文化事業が実施されているほか、市民団体による自主的な展覧会や舞台発表会が

盛んに行われています。平成21年度に「夢創館」を取得し、芸術文化活動の拠点として活動の活性化や一層の充実に向けた取り組みを行っています。

○文化団体の育成や各種活動の場の充実に努めながら、個性豊かな芸術文化の創造・発展と恵庭すずらん踊りや恵庭岳太鼓など郷土芸能の保存・普及をめざしていくことが求められています。

基本
方針

市民主体による自主的な文化活動を支援するとともに、郷土芸能の保存普及とさまざまな芸術鑑賞機会を提供するなど個性豊かな資質の高い地域文化の創造をめざします。

主要
施策

24-1 芸術文化の振興

文化団体を育成支援し、市民が芸術活動を発表する場や機会などの環境を整備するとともに、芸術鑑賞機会の拡充を図ります。

【主な事業】

- ・芸術鑑賞機会の充実
- ・文化団体の育成支援
- ・夢創館の活用（再掲）

24-2 郷土芸能の保存・普及

郷土意識を育成し、ふるさと文化を高める郷土芸能の保存普及に努めます。

【主な事業】

- ・郷土芸能団体の育成



恵庭岳太鼓

25 カリンバ遺跡などの文化財を保護し活用します

主要 施策

25-1. 史跡カリンバ遺跡の整備

25-2. 埋蔵文化財の発掘・保存の推進

25-3. 郷土資料館機能の充実

25-4. 郷土史の記録保存

現況と 課題

○文化財は、未来に継承すべき市民の貴重な財産です。市内には、埋蔵文化財^{*1}の包蔵地として125ヵ所が確認されており、その中で、平成17年3月、国の史跡に指定された「カリンバ遺跡^{*2}」は、合葬墓の中から副葬品として多数の漆製品などが出土し、世界的に例を見ない遺跡として注目を集めています。

○歴史や文化を伝える埋蔵文化財や郷土資料などの文化遺産の保存・保護に努めるとともに、地域の資源として有効に活用を図ることが必要です。学習や研究のために情報を提供する施設や出土遺物の保管施設について整備する必要があります。

基本 方針

カリンバ遺跡の史跡整備を進めるとともに、郷土の歴史や文化を学ぶ場となる郷土資料館の展示機能を充実していきます。



カリンバ遺跡(未塗り)

主要 施策

25-1 史跡カリンバ遺跡の整備

国の史跡指定を受けたカリンバ遺跡について、適切に保存管理して次世代に引き継ぐとともに、市民参加により有効な活用を図りながら整備を進めます。

【主な事業】

- ・史跡カリンバ遺跡整備基本構想及び保存管理計画の推進

25-2 埋蔵文化財の発掘・保存の推進

埋蔵文化財の包蔵地として確認されている地区での開発行為にあたっては、発掘調査が必要になることから、埋蔵文化財の所在状況を的確に把握し、調査を実施するとともに、発掘された出土遺物について整理保存し市民の学習資料として紹介していく必要があります。

【主な事業】

- ・埋蔵文化財発掘調査事業

※1 埋蔵文化財…地中に埋蔵されている有形文化財
※2 カリンバ遺跡・黄金地区で発見された縄文時代の遺跡で、赤
漆塗り櫛などの貴重な副葬品が出土

25-3 郷土資料館機能の充実

郷土資料館では、開館以来、郷土の歴史や文化など多岐にわたる資料の収集に努めてきました。先人から受け継がれてきた文化財を大切に保存し、恵庭の遺産として将来へ継承していきます。

【主な事業】

- ・郷土資料館展示リニューアル事業

25-4 郷土史の記録保存

恵庭市史は、昭和54年に初版が完成し発刊されましたが、昭和52年以降の歴史の変遷が記録保存されていないことから、これを補完するため調査研究や資料収集、資料調査を行っていきます。

【主な事業】

- ・恵庭市史・新版編さん事業



遺跡の発掘(ユカンボシE14遺跡)

26 さまざまなスポーツにだれもが参加できる環境づくりを進めます

主要
施策

- 26-1. 生涯スポーツの振興
- 26-2. 競技スポーツの振興
- 26-3. スポーツ環境の整備充実



総合体育館

現況と 課題

○スポーツは体力の維持や増進だけではなく、仲間づくりや生きがいを育み、市民生活を健康で豊かにするものです。これまで子どもから高齢者まで各期に応じたスポーツ活動の機会を提供するとともに、スポーツ関係団体の育成・強化を通して競技スポーツレベルの向上にも努めてきました。

○価値観やライフスタイルの多様化とともに、市民の健康づくりへの意識も高まっています。今後もそれぞれの体力や目的に応じて、いつでも・どこでも・いつまでも気軽にスポーツに親しむことができる環境を整備していくことが大切です。また、競技スポーツの振興や競技水準の向上を図るために施設整備を行うとともに、各種競技団体への支援、指導者の育成を図る必要があります。

基本方針

スポーツ振興基本計画に基づき、市民だれもが生涯各期に応じて、さまざまなスポーツやレクリエーションに親しむことができる生涯スポーツの振興と各種競技団体への支援、指導者の発掘・育成に努めるとともに競技スポーツの振興を図り、スポーツ環境の整備充実に取り組みます。

主要施策

26-1 生涯スポーツの振興

市民が生涯を通じてスポーツに親しめるよう子どもの体力向上を図るとともに、ニュースポーツ^{*1}、アウトドアスポーツ、ウインタースポーツの普及を図ります。また、総合型地域スポーツクラブ^{*2}の創設を支援します。

【主な事業】

- ・スポーツイベントの充実
- ・アウトドアスポーツ指導者の養成
- ・総合型地域スポーツクラブの創設支援
- ・子どもの体力向上方策の推進

26-2 競技スポーツの振興

市民のスポーツ活動の振興と競技水準の向上のため、各種競技団体の育成・強化などに努め、競技スポーツの振興を図ります。

【主な事業】

- ・スポーツ団体の育成・強化
- ・スポーツ観戦機会の充実

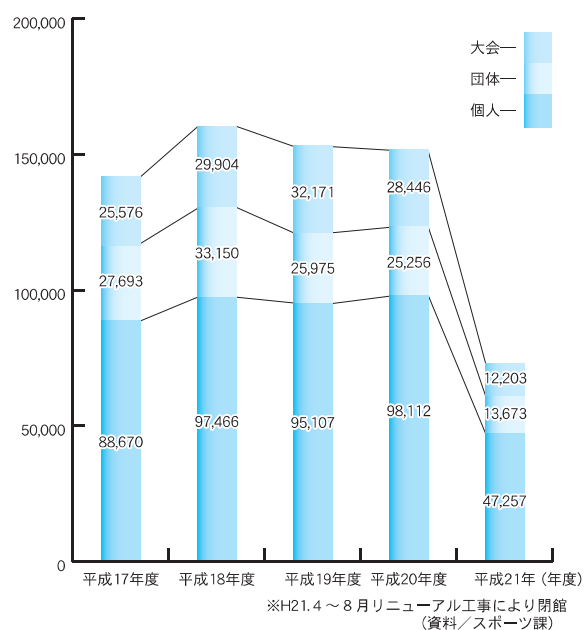
26-3 スポーツ環境の整備充実

スポーツ施設を整備しスポーツ環境の充実に努め、市民のスポーツ・レクリエーション活動を支援促進します。

【主な事業】

- ・スポーツ施設の整備
- ・スポーツ指導者の養成

■総合体育館利用の推移(単位/人)



※1 ニュースポーツ・スポーツ参加の拡大と参加のあり方の変化を背景に新しく考案・紹介された広義のスポーツ
※2 総合型地域スポーツクラブ…地域住民が運営し、子どもから高齢者までがさまざまなスポーツをそれぞれのレベルに合わせて参加できるスポーツクラブ

